

令和 3 年 6 月 5 日現在

機関番号：34419

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17K02150

研究課題名(和文) 訪日外国人・消費者の現代的多様性を考慮した観光産業の経済分析

研究課題名(英文) Economic analysis of the tourism industry considering the modern diversity of foreign visitors to Japan and Japanese consumers

研究代表者

平松 燈 (Hiramatsu, Tomoru)

近畿大学・総合社会学部・准教授

研究者番号：30725255

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：訪日外国人や日本人の観光行動や経済効果についての分析を中心に行った。訪日外国人の増加に伴い、日本全体では経済が活性化する。地域別に見ると、訪日外国人数が多い地域や少ない地域により、経済効果が異なることを示し、さらには、地方部には地域経済が衰退する可能性がある。また、交通機関の発展に伴い、地理的な経済構造が変化する。それに伴い、人口分布や観光産業の活性化の度合いにも地域により差があることを示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究開始時、日本の観光産業が活発化していたが、研究が不足していた。本研究は、データ解析(Hiramatsu and Yoneda, 2018; 平松・米田, 2018)やシミュレーション分析により(Hiramatsu, 2018a; Hiramatsu, 2018b)、高速鉄道の整備により、人口や観光産業や他の経済活動の立地が変化することについて研究した。また、訪日外国人の増加が地域経済に与える影響を分析し、地域により受け取る影響が異なることを示した(平松, 2018)。データ解析やシミュレーション分析において、注目される分析手法を用いたことも本研究の意義である。

研究成果の概要(英文)：We analyzed the tourism behavior and economic effects of foreigners visiting Japan and Japanese tourists. As the number of foreign visitors to Japan increases, the Japanese economy will be revitalized. Looking at each region, it was shown that the economic effect differs depending on the number of foreign visitors to Japan in each region. Rural regional economies can decline. In addition, the geographical economic structure will change with the development of transportation. Along with this, the degree of revitalization of the tourism industry and the population distribution also differ from region to region.

研究分野：地域経済学

キーワード：観光 交通 訪日外国人

1. 研究開始当初の背景

日本では、社会的にはグローバル化や少子高齢化、東京と地方の関係の見直しなど、社会環境の変化が顕著になってきている。また、消費者の多様化も急速に進展中であった。空間的にも、日本は構造の変化局面にあり、新幹線、高速道路、リニア新幹線など交通網の整備はもちろん、国際化や震災復興に伴う物流や人的交流も深化している。そのような中、観光が経済に果たす役割への注目が高まっている。訪日外国人数が急速に増加した。2020年東京五輪も決定し、観光に対する期待は大きい。交通インフラなどの空間的視点を取り入れた、観光産業の研究は重要課題である。

一方で、学術的には、観光を分析した学術研究は十分な注目を集めてこなかった。しかし、訪日外国人数も急増する中、観光が社会・経済的に重要な課題として認識され始めた。そこで、研究面でも蓄積しておくことは重要と考えられた。また、コンピューター技術の進展に伴い、数値計算速度が高速化した。これまで同様に、理論的な研究やデータを分析した統計・計量的研究の重要性は変わらないが、数値シミュレーション分析の価値が見直され始めている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、観光産業の活性化が、各地域に及ぼす影響を分析することである。その際、現代社会の特徴である消費者の多様性を考慮して分析を行う。経済環境の変化や経済政策の変化が与える影響や反応は、消費者によって異なるなどが得られるためである。このような分析を行うために、観光産業の経済効果と産業間・地域間の波及効果を分析可能な、応用一般均衡分析(CGE)モデルを開発する。モデルは、日本全国47都道府県を対象とし、各県の地域経済と交通ネットワークから構成される。現実的な分析結果を得るために、CGEモデルには、公開されているデータや、先行研究から得られる知見を反映する。CGE分析は研究の蓄積が求められており、学術的な貢献となる。また、観光と交通の発達に関する計量経済分析も行う。

3. 研究の方法

訪日外国人を含む消費者多様性や多地域他産業を考慮した中心的な分析は、2段階で行う。(1)まず、データ整備と計量分析により、多様な消費者の観光・居住・就業などの立地選択に関する現状把握を行う。これまでも消費者多様性や多地域のデータ分析の経験が有り、効果的に分析を行うことが出来る。(2)次に観光産業に関するシミュレーション分析を行う。これまでの研究蓄積を活用し、計算速度の速い機械を利用することで、効率的に研究する。リニア新幹線の整備、訪日外国人の経済効果などについてのシミュレーション分析を行う。分析結果は、学会での発表や学術論文として投稿する。

4. 研究成果

高速鉄道の整備が地域経済に与える影響について研究した。成果として、高速鉄道による人口や経済活動の立地が変化することについて、データ解析を行い、高速鉄道の開通により人口移動に影響を及ぼすことを示した(Hiramatsu and Yoneda, 2018)。一方で、そのような影響は労働年齢層以外では現れたとは言えないことを示した(平松・米田, 2018)。シミュレーション分析においても、経済活動の空間的变化が示された(Hiramatsu, 2018)。また、これらの成果を踏まえ、高速鉄道の開通が観光産業に影響を与えることをシミュレーション分析により示した(Hiramatsu, 2018)。これらの研究は九州の事例を中心に行ったが、その中には九州新幹線開通の経済的影響の分析が多く、また、未開通のルートについても分析した。



1 . 福岡県、 2 . 佐賀県、 3 . 長崎県、 4 . 熊本県、 5 . 大分県、
6 . 宮崎県、 7 . 鹿児島県

福岡県-熊本県-福岡県を通過するルートは開通した九州新幹線の
ルート、佐賀県-長崎県を通過するルートは未開通のルート。

リニア中央新幹線の開通が持つ影響について分析し、成果として、ルートの違いや開通時期の違いにより成長する地域が異なることを示した。現状を強化する東海道新幹線と同じルートや東京-名古屋間を先行開通する場合は、東京への一極集中傾向が強まる。一方で、東海道新幹線と異なるルートや、大阪-名古屋間を先行開通する場合は、一極集中傾向を弱める (Hiramatsu, 2020: ワーキングペーパー)。

また、訪日外国人の増加が地域経済に与える分析により、地域により訪日外国人の増加により受け取る影響が異なることについて、九州経済圏 (平松、2017) や関西経済圏 (平松、2018) においてを示した。日本全体で見た場合は、訪日外国人の増加により、地方で衰退する地域がある可能性について示した (平松、2018; Hiramatsu, 2020, ワーキングペーパー)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu	4. 巻 27
2. 論文標題 Job and Population Location Choices and Economic Effects of High Speed Rail: Simulation Analysis of Shinkansen in Kyushu Island, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Research in Transportation Economics	6. 最初と最後の頁 15,26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 56
2. 論文標題 関西2府4県における訪日外国人の経済効果：応用一般均衡分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 九州経済学会年報	6. 最初と最後の頁 149,157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 45(2)
2. 論文標題 Unequal Regional Impacts of High Speed Rail on the Tourism Industry: A Simulation Analysis of the Effects of Kyushu Shinkansen	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportation	6. 最初と最後の頁 677,701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 57
2. 論文標題 訪日外国人と地方経済	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集	6. 最初と最後の頁 1,10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu and Koji Yoneda	4. 巻 17(3)
2. 論文標題 Short-term Impact of High Speed Rail on the Working-age Population: Evidence from Kyushu Shinkansen in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Empirical Economic Letters	6. 最初と最後の頁 359,366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈・米田耕士	4. 巻 24
2. 論文標題 九州新幹線の開業が沿線人口に及ぼした影響	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済論集 (熊本学園大学)	6. 最初と最後の頁 154,168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu	4. 巻 45
2. 論文標題 Unequal regional impacts of high speed rail on the tourism industry: a simulation analysis of the effects of Kyushu Shinkansen	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportation	6. 最初と最後の頁 677,701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11116-016-9746-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤康彦、平松燈、井上寛規、米田耕士	4. 巻 37
2. 論文標題 Artisocによる都市道路ネットワークの形成メカニズム解明のためのシミュレータ開発	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 産業経営研究 (熊本学園大学附属産業経営研究所)	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 55
2. 論文標題 九州7県での訪日外国人による経済波及効果の地域間産業連関分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 九州経済学会年報	6. 最初と最後の頁 105,112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 6(3)
2. 論文標題 訪日外国人と経済効果：地域間産業連関表による分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際学研究 (関西学院大学)	6. 最初と最後の頁 51,62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計6件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 Tomoru Hiramatsu
2. 発表標題 Autonomous Car, Car Sharing and Structure of a City: Car as Public Transportation
3. 学会等名 Annual Conference of Global Economic Analysis (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 リニア中央新幹線の影響と地域差
3. 学会等名 応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 訪日外国人の増加と長期的な地方経済の衰退
3. 学会等名 都市経済ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 訪日外国人と地方経済
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 関西2府4県における訪日外国人の経済効果: 応用一般均衡分析
3. 学会等名 九州経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoru Hiramatsu
2. 発表標題 Unequal Regional Impacts of High Speed Rail on the Tourism Industry: A Simulation Analysis of the Effects of Kyushu Shinkansen
3. 学会等名 応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担 者	米田 耕士 (Yoneda Koji) (20547442)	熊本学園大学・経済学部・准教授 (37402)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------